

地球研プロジェクト5-3

「日本列島における人間－自然相互関係の歴史的・文化的検討」(列島プロ)全体集会,  
2009年11月28日, 総合地球環境学研究所, 京都市.

サハリン・沿海州班

環日本海北部地域における後期更新  
世の環境変動と人間の相互作用に関  
する総合的研究

:2009年度活動報告

# サハリン班の研究目標

環日本海北部地域における後期更新世の気候変動とそれに伴う動植物(相)資源環境の変遷が、旧石器時代の人間活動とその文化形成にどのような影響を与えたのかを評価する。

# 研究体制

- 佐藤宏之(東京大学):全体統括、旧石器文化の民族考古学的検討
- 出穂雅実(首都大学東京):旧石器遺跡の地考古学的検討
- 山田 哲(北見市教育委員会):旧石器遺跡の遺跡間変異解析
- 森先一貴(奈良文化財研究所):旧石器遺跡のデータベース構築
- 佐々木史郎(国立民族学博物館):北方少数民族の文化人類学的研究
- 高橋啓一(琵琶湖博物館):動物化石による動物相復元
- 増田隆一(北海道大学):動物化石のDNA分析
- 五十嵐八枝子(北方圏古環境研究室):堆積花粉による植物相復元
- 小田寛貴(名古屋大学):AMS年代測定
- 早田 勉(火山灰考古学研究所):テフラ同定

# 研究対象

時代:

後期更新世, 特にMIS3後半~MIS2(45-10ka)

地域:

環日本海北部地域(ロシア沿海地方, ハバロフスク州,  
サハリン州, 北海道)

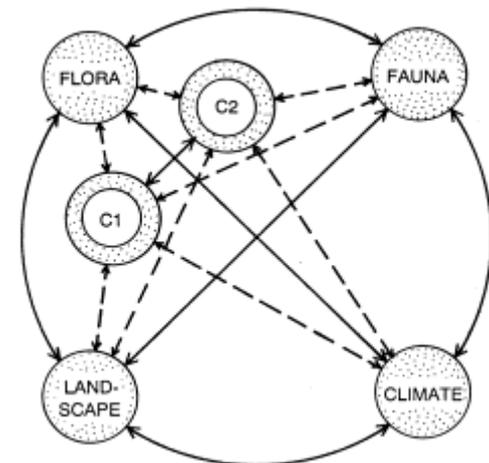
研究対象:

人類生態系(気候・景観・植物相・動物相・文化)

具体的な手続き:

地質学的対比

- ・テフクロロジー
- ・AMS年代測定(非校正)



C:文化

# 昨年度までの成果と課題(1)

## 人類生態系史の構築

Age (KaBP)	Climatic stage (MIS)	Flora				Fauna				Culture														
		Hokkaido	Sakhalin	Amur	Primorye	Hokkaido	Sakhalin	Amur & Primors	Hokkaido	Sakhalin	Amur	Primors												
8	1	Pan mixed forest composed of cool temperate broad leaf trees and some alpina trees	Taiga(Picea, Larix, Pinus, Abies)	Picea, Quercous, Ulmus, Abies	Broad leaf-Coniferus (Korean pine) forest	Fauna with Brown bear	(formation of Sakhalin island)	Fauna with Brown bear and Amur Tiger	?	Middle Early Neolithic	Early and Middle Neolithic (biface and blade technology)	Middle Neolithic(bifaces and blade technology)												
7				Dark coniferus forest with some broad leaf species																				
8																								
9				Larch, Betula										?										
10																								
11																								
12	2	Open larch-pine taiga with grassland	Open larch-pine taiga with mire	Taiga(Larch, Pine, Picea, Birch) with open grassland	Taiga(Larch, Pine, Picea, Birch) with open grassland	Fauna with Mammoth	Fauna with Brown bear, Equus, Panthers, Bos, Bovie	?	Microblade technology and Tachikawa point (Agonki 5 upper)	Microblade technology (Hiroato, Horoka, Sakkotou), the same with Hokkaido (Sokol, Olimpia5)	Microblade and blade industries	Microblade cultures, Pebble tool technology, and Blade technology												
13																								
14																								
15																								
16																								
17																								
18																								
19																								
20																								
21																								
22																								
23																								
24																								
25																								
26																								
27																								
28																								
29	3	Taiga(Picea, Abies, Larch, Pinus)	Taiga(Picea, Larix, Pinus) with grassland	Taiga(Picea, Abies, Larch)	Taiga(Picea, Abies, Larch)	Fauna with Mammoth	Fauna with Mammoth	Fauna with Mammoth	?	Blade technology (prismatic core) polished stone, scraper, adze/beginning of microblade technology	Microblade, Blade, and Flake industries	?												
30																								
31																								
32																								
33																								

---relatively warm period

いずれの要素も北海道のデータが基準になる。

# 昨年度までの成果と課題(2)

## 北海道旧石器遺跡の地質編年

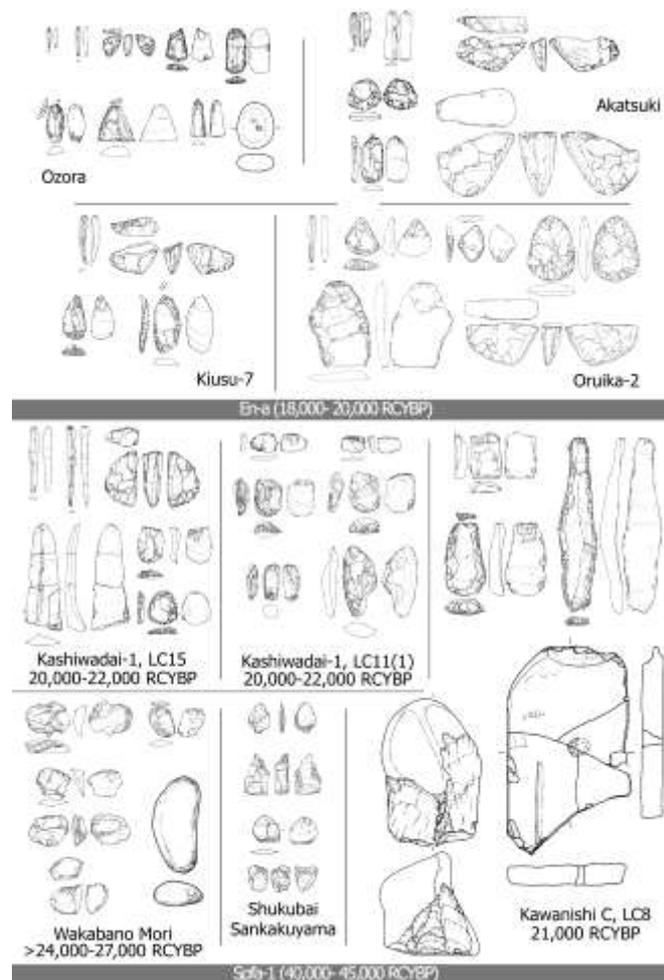
北海道の石器群:

20-12ka: 多様な細石刃石器群.

22-20ka: 石刃石器群, 剥片石器群, 細石刃石器群.

30ka: 小型剥片石器群.

But 30kaの小型剥片石器群の地質学的証拠が不足している.



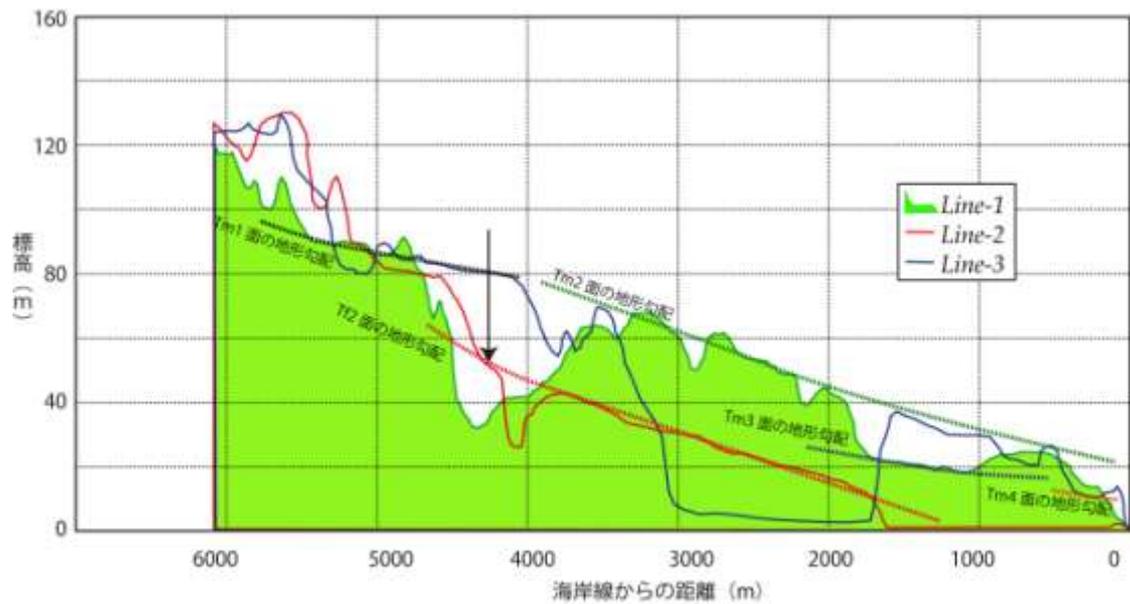
artifact scale: 0 5 10cm

# 2009年度の取り組み

- 1) 2007年及び2008年に実施した忠類ナウマンゾウ産出地点地質調査報告書の作成
- 2) 古サハリン・北海道半島の上部旧石器時代前半期遺跡の集成と分析
- 3) 環日本海北部地域各地の既存データ(景観・植物相・動物相・文化)の集約

- ・作業の進捗に合わせて、これらの成果を学会などで報告した。
- ・シリーズ本第2巻の担当部分については全員が執筆を完了した。









海水準の停滞～上昇→河床勾配の低下→浸食基準面の上昇  
海水準低下に伴う急速な削剥

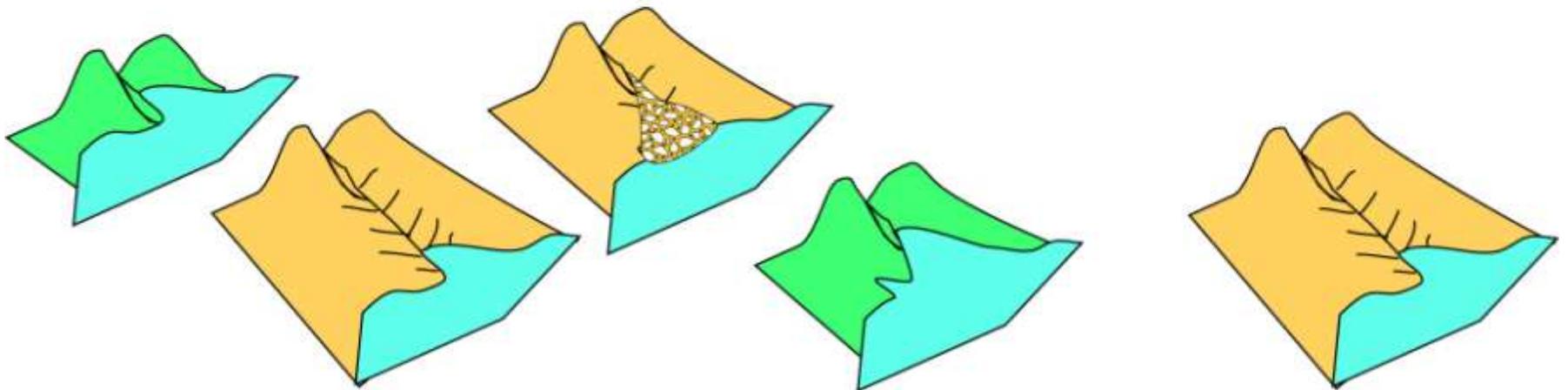
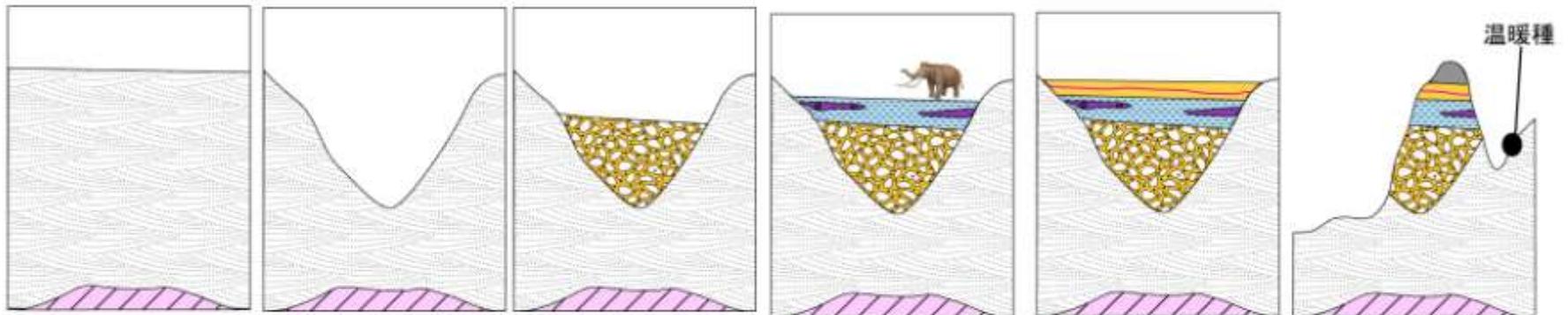
海水準低下に伴う急速な削剥

St-7

St-6

St-5e

St-3 ~ 1



## 2) 古サハリン・北海道半島の上部旧石器時代前半期遺跡の集成と分析

北海道置戸町秋田高台遺跡  
試掘調査資料及び表面採集  
資料

石器組成: 基部加工尖頭形石  
刃石器, 台形様石器, 削器,  
二次加工剥片, 石核, および  
局部磨製石斧.

・台形様石器や局部磨製石斧  
など, 石器の諸特徴から本州  
の上部旧石器時代前半期に強  
く対比される.

・この資料体の基礎整理は  
2009年11月で完了した.

表① 秋田高台器種組成

	黒曜石	チャート	水晶	片岩	泥岩	粘板岩	珪化木	合計
基部加工尖頭形石刃石器	1							1
基部加工尖頭形剥片石器	2							2
台形様石器	31(1)							31(1)
削器	4							4
石錐	2							2
挟入石器		1						1
楔形石器	2	1						3
石器破片	2							2
二次加工剥片	25							25
微小剥離痕を有する剥片	18(1)							18(1)
剥片	104(2)		8					112(2)
細片	2		2					4
石核	16(2)		2					18(2)
打製石斧				1				1
局部磨製石斧					1	1		2
敲石					1			1
礫・礫片		2	4				1	7
合計	209(6)	4	16	1	2	1	1	234(6)

\* 括弧内は試掘資料



写真②

写真③



写真⑤



写真⑥

# 2010年度の主な活動予定

- 1) サハリン・沿海州班研究成果報告書の刊行.
- 2) 重要な成果のいくつかについて論文を執筆.
- 3) 上記1), 2)を完遂するための補足調査の実施.

特に1)については、報告書の校正など基本的な方向性を今年度中に決定し、2010年度の早い段階で班会議を開き、最終的な作業に入る。